

予算特別委員会(平成 30 年 3 月 12 日～3 月 26 日)

松下正治議員の質疑



### 介護現場における事故防止策について

高齢化の進展に伴い、介護を必要とする高齢者は増加しており、安心して介護サービスを利用するためには、介護現場における事故防止策が必要であり、県で把握している平成 28 年度の介護現場における事故の状況について説明を求めます。

死亡等の重大事故に対して、県の適正な対応を要望するとともに、在宅で介護をされている家族の方に参考になるような事故防止策の事例を示して欲しい。

また、職員の少ない小規模事業所における事故防止のための支援策を伺います。

## 【執行部の答弁】

この数年、介護サービスの利用者や事業所が増え、事故件数も増加傾向にある。事故の内容としては、居宅系サービスにおいては、転倒・転落、交通事故、誤えんが多くなっており、入所系サービスにおいては、感染症、誤えん、転倒・転落が多くなっている。



事故防止策として、自宅のバリアフリー化や筋力づくり、誤えんを防止するための適切な歯磨きの奨励、食事を取る時の姿勢を整えること、とろみのついた食べ物を選ぶことなどを例示して、防止策を進めている。

また、事故防止対応マニュアルのモデルを

作成し、事業所に周知するとともに、実地指導等においてその作成を促していくなど、事故防止対策の徹底に取り組むこととしている。